

令和5年度議会報告会(意見交換会)における発言内容報告書

開催地区: 作手地区 開催日時: 令和5年10月2日(月) 午後7時00分 ~ 午後8時30分 開催場所: つくで交流館 担当議員: 6名 (氏名: 鈴木達雄、佐宗龍俊、齊藤竜也、小林秀徳、カークランド陽子、欠席 竹下修平) 参加人数: 男性20名、女性16名 計36名	報告者 カークランド陽子
---	---------------------

分類: ●議会に関するもの ○市政に関するもの 対応: ①回答(処理)済 ②聞き置いた事項(含む情報提供)

No.	市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	対 応			キーワード
			分類	番号	担当	
1	無農薬米の視察について新城ではどんなことを参考にしたか。	本当は、いすみ市に行きたかったが日程の都合でいけず、代わりに武蔵野市に行ってきた。無農薬や有機は外部から仕入れていたので新城ではあまり参考にできなかったが、その他、さまざま参考になることがあった。例えば、市独自の抜き打ち検査の実施など。	○	①	カークランド陽子	委員会視察
2	新城市過疎地域持続的発展計画の変更で賛否が分かれたのはなぜか。	委員会では全会一致で可決だったが、共同調理場に反対する議員が、今も自校式の方が良いので、共同調理場に関する議案には反対ということで議案にも反対した。	○	①	佐宗龍俊	議案審議
3	視察で丹波篠山に行ったとのことだが、丹波は獣害に生きがいとやりがいとした政策を取っている。島根県美郷町とも協力体制をとって地域ぐるみという対策を進めているが、新城ではどのような対策を考えているか。	職員2名と視察をしてきた。現状は防獣ネット・猟友会による捕獲など。今のところ視察を反映した対策は出ていない。今後、議会からも新たな提案などもしていきたい。農業の方々に鳥獣害被害を軽減できるかを考えていく事だと思う。今回見てきた事例が新城市にはまるかということも難しいと感じた。	○	①	齊藤竜也	委員会視察
4	給食へのジビエの導入について、新城ではどのように考えているか。	今後給食に活用していけるのかどうか、検討していきたい。	○	①	カークランド陽子	学校給食
5	作手診療所について。院内処方件でかなり困っている。議会ではどのように進めていくのか。	議会としてどうかというのはなかなか言いにくいですが、当事者の方たちがなかなか情報をくれないので苦労している。現在は看護師長と看護師3名のうち3人やめて一人異動になったので臨時で非正規で回しているが、正規2人募集している。それができれば院内処方も元に戻してできる。今は配送してくれる薬局が1店舗あるので、取りに行くのが難しい人にはそちらをご紹介している。	○	①	佐宗龍俊	医療機関
6	(5の回答を受けて) 今募集2人だが、その2人が見つければ院内処方ができるのか?	市役所に確認したら、2人正規が採用され、業務になれば院内処方が再開できると聞いている。	○	①	佐宗龍俊	医療機関

No.	市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	対応			キーワード
			分類	番号	担当	
7	作手診療所関連。5年以上の経験者の募集の締め切り終わっていると思うが、応募はあったのか。	募集は締めきられているが、1名入って募集が終わってそれでなんとかしようでは困るということは伝えてある。ちゃんと2名探して欲しい。応急処置として薬は各家に届けてくださいということは伝えてある。	○	①	齊藤竜也	医療機関
8	作手診療所。それまで行っていた三重県(三重県の医療機関)から作手診療所に変え、しばらくは大丈夫だと思っていたら、6月からこのような状態になった。9月の市議会で診療所についての質問があった。その時の部長の答えが、薬がもらえないから取りに行ってもらおうということになったのが6~7月くらいだったと思う。その時の質問に対する答えが、定期的に通っている患者の中で困るという意見は出ていないと。7、8、9月行って待合室で話を聞いていると、みんな困っているが我慢しなければどうしようもないから我慢しているのに、答弁と実態があっていない。議場で聞いていてどう思ったか?	今おっしゃった通り。作手の人は困っていないのではなく我慢しているということ、2人ともそれぞれ部長のところに行っている。ただ、困っていることないですか?と聞けば、作手の人は困ったことはないと言ってくれているだけで、本当は困っているということは常に届けている。	○	①	佐宗龍俊	医療機関
9	配達をしているところが1カ所あるから良いじゃないかということだったが、先週水曜日に老人クラブで話が上がった。配達してくれた人が、田代ってこんなに遠いところですかと感想を言った。冬まで続くと、冬の作手は新城とは条件が違う。スムーズに配達できるのか。	配達してくれるところが1つしかないのではないよりは良いが、それだから良いということではないし、院内処方に戻してもらえるよう働きかけている。(鈴木)委員会でも元々の院内処方は復活させるべきだということは言っている。その後市の対応も少し緊張感が出てきた。	○	①	鈴木達雄 佐宗龍俊	医療機関
10	作手の2人の議員がこんなに診療所のことを心配してくれることが分かり安心したが、なぜ2人とも市議会でのこのことを取り上げて作手の人が困っているということを質問してくれないのか。	いろいろな情報があり、正確でない情報も含まれる中、どれが正しい情報なのか自分なりに判断しなければならない中で、地元の議員があそこで犯人探しのようなこと(誰が悪いのかなど)すると、後々、作手診療所を再構築していくのに角が立つと感じた。後ろではきちんとやっている。そのほうが今後の再構築には良いと判断し、あえて(一般質問で)しなかった。	○	①	佐宗龍俊	医療機関
11	(10番の回答を受けて) 誰に角が立つのかわからない。普通に早く病気の人たちに薬を出してもらいたいだけ。	一般質問したから問題が解決するかということは別の問題。地元の議員がやると差し障りがあると感じた。質問するのではなく、部局としっかり進める形をとった方が良いと判断した。(齊藤)佐宗議員と概ねかぶるところもある。目的は院内処方ができるようになること。自分はそこに到達するのが一般質問ではないと考えた。職場の組織の問題を一般質問で糾弾することもできたが、市の取り組みとして問題があったことは確かだが、誰かのせいにするような状態にし、それを作手の議員がいうことによって、そのかた達が作手で生きにくくなる。一般質問をやらずにどうしたら良いか?それは診療所がきちんと復活するよう動くことだと思った。	○	①	佐宗龍俊 齊藤竜也	医療機関

No.	市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	対応			キーワード
			分類	番号	担当	
12	それでは議会とはなんなんですか？ 議会は裁判ではなく、困った問題が起きてるがなんとかしてもらえないかと前向きにやっていくためのものでは？	一般質問が議会だと思っていない。一般質問は個人の活動だと思っている。もちろんそれによって行政が動くという一面もあると思うが、一般質問をやらなかったから議会としての体がなされていないとか、議会としての活動をしていないというのは違うと思う。	○	①	佐宗龍俊	議会
13	もともと新城市そのものが医療体制が貧弱。選挙のたびに市民病院のことは随分語られてきているが、市民病院そのものもなんら変わっていない。根底的な問題を解決しようとしていないからでは？ 議会は問題を徹底的に討議するものでは？ 2人の話を聞いていて議会が成り立っていないのでは？ 2人とも議会のどのように考えているのかわからない。					
14	風力発電について。1ヶ月ほど前に黒瀬の人が来て、黒瀬としては反対になったので、区としての意見をまとめてもらえないと言われて、区として反対を表明した。10月14日に説明会があるらしいが、おそらく今はまだそれほど大きな反対運動になっていないけど、本気になってやったら作手は二分する大きな問題になると思う。2人の議員は賛成なのか反対なのかはっきりさせて作手が二分しないように。このことにも積極的に取り組んでもらいたい。医療の問題も議会で質問する云々ではなく、こういう問題を解決しようという議員連盟でも組んだりしても良いのでは？	議員は基本的に議会があるから議員を選ぶわけで、議員がいるから議会があるわけではない。議員は本来議会としての力を発揮する、議会として大きな力で行政に対峙するのが本来だというのは分かるので、しっかり取り組んでいきたい。	○	①	佐宗龍俊	風力発電事業
15	風力発電 できてしまったら本当に大変なことになるのは目に見えている。中電も人体・環境に重大な影響が出る可能性があるというのは認めているし、10キロ圏内で影響が出るというのは過去の経験でわかっていると思うが、新城市は500メートルと定めているが、議会ではこのようなことに関して話し合いなどはしているのか。	風力発電の影響は議会でも考えている。が、500メートル云々という内容については決めた根本的なものは過去の公のデータから来ていると思う。ただしやはり影響あるという声もあるのでおっしゃることはわかるが、現状は500Mの根拠はある。	○	①	鈴木達雄	風力発電事業
16	これができたら菅沼の人は確実に引っ越さなければならない人も出てくるが、そういうことに関して市として対応できるのか。効力はなくても市として反対するということはできるのでは？ そう言ったことはしてもらえないのか。	風力発電を作るという段階で現状の条例などでもコントロールする事ができない状況。国の決めた手順を踏めばできてしまう。そもそも市民の皆さんの声のもとになるので、それに基づいて議会としては動くことになると思う。	○	①	鈴木達雄	風力発電事業
17	庁舎の時と同じで、先に計画がどんどん進んでしまって地元の人に教えるのが遅くなってはいないか。	中部電力のいう地元の人とは作手全域の人ではなく菅守学区の人のこと。そもそも菅守学区の人への説明が不十分。今度地域の説明会もやるが、そもそも風力電力立てて良いのかということ菅守の人がしっかり答えられる状況にしなければならぬと思っている。風力発電がこられたら嫌だという人が多いのはわかっているが、実際山を持っている人や地域の人の意見を集約しないと先に進めないと思っているので、意見を集めていく。	○	①	齊藤竜也	風力発電事業

No.	市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	対応			キーワード
			分類	番号	担当	
18	風力発電10年ほど前に風力測定器とか立てた。作手の人も知らないのでは？ その際私もネット上で危険なことがあって各地域の情報をアップした。中電に対して区長や新城市はもっと情報をとりにいかなければ企業はそういうことにルーズだと思う。議員もこういう問題があるからちゃんと議会で取り上げるともっと声を上げなければ、中電の思うがままになる。自分も含め一生懸命情報収集するよう活動したい。	情報がわからないという声を受けて、6月に請願が議会に提出された。それが採択されて、市が中電にしっかり働きかけをして、地元への説明会を至急するよにしている。風況調査で声をかけられるのは地権者のみ。その人がいいというに進んでしまう。その当時はその段階で反対をしたが、「地元」というのをもっと広めて説明会をするよにしている。	○	①	鈴木達雄	風力発電事業
19	地域住民というのは菅守4区の人だけなのか？	中電が立てようとした時に意見収集の対象として考えているのがその範囲に限られてしまう。請願においてはつくで全体。さっき二分するという意見があったが、その通り。私は菅守の人にちゃんと理解してもらい、もしくはどういう意思表示をしていくのかサポートしていく。作手の人が団結して反対運動をするのか。それをやるよというわけではない。が、慎重にやらなければならないと思う。団結してやろうよをやりたくない人もいる。心の中では風力発電立てて欲しくない人もいる。しっかりその意見を崩れないよにするべき。	○	①	齊藤竜也	風力発電事業
20	齊藤議員は作手の議員ですよ？ 中電が「地域の人」と認識している菅守地区の人に、何を話に行っているのか？	実際1件1件行っているわけではなくいろんなところからアプローチしている。いろんな意見があるのでそれを全部理解してくれとは思わない。風力発電をいいと思っている人は少ないと思う。が、実際山が維持できなくて売りたい人もいる。そう言った地域課題をほったらかしにして風力反対と言っても共感が得られない。両方が納得できるよな止め方をしなければならぬ。ただただ反対で山を守ったよのはいいが、残された山のことも考えなければならぬ。本当はすぐに売れたはずだったのよと思う地権者もいるかもしれない。そう言った課題も含めて考える必要があり、それには時間をかけるべき。	○	①	齊藤竜也	風力発電事業
21	山は売るのでなく、中電は間違いなく貸す借りるよ関係で言っている。	貸すか借りるかという部分は認識に間違いがあったが、ただお金がかかるものを持ち続けるのかどうかよ問題があり、それを解決する案を提案しなければならぬと思っている。最終段階では止めるよという意見をまとめる必要があるが、山の問題を解決しなければまた開発される。	○	①	齊藤竜也	風力発電事業
22	正しく認識していただきたい。風力のメリットデメリットを考えたが、立てた場合のいいことがその時いつきお金が入ることよわかった。が、貸して返ってきたときに、固定資産税も3～5倍になって返ってくる。土砂が起きてよ責任は地主になる。そういうことを地主に説明しているのか？	まだ全部やっていない。確かにいつきお金が入る。そのあとはゴミ屑になるかもしれないよこと。それはそうだが、そのいつきのお金のためにそちらを選択する人がいるかもしれない。山を守ることが難しくなっている。これは新城市全体の重要な課題。これを解決しないと、つくでのひと以外のものになるかもしれないし、その人があっさり手放してしまうかもしれない。自分も立てて欲しく無いよと思っているので、その意思表示をしっかりしていくよことは重要だと思よ。	○	①	齊藤竜也	風力発電事業

No.	市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	対応			キーワード
			分類	番号	担当	
23	風力発電 菅守区に住んでいるが、菅守が意思表示しないということでいろんな意見をいただいている中にある。区長にということで区長にそう言った話があるが、どこも一年だけでやっているし高齢者世帯だけのところもある。地域の意見まとめなど区長1人にやれというのは無理がある。区長1人にはなかなかできないというのを齊藤議員に手伝ってもらっている。若い人たちが今一番不安に思っている反対とと思っているので、そういう人たちの意見を早く拾うとか、そういう人に中電の情報と不安材料と両方入れるべき。早くそういう人たちに双方の情報を入れるよう頑張っている。	地域が二分するのが怖いという話があった。大前提はそういう形にならないように。賛成の方の意見はあまり聞いたことないが、賛成の人反対の人迷っている人どちらでもない人情報がない人それぞれの人の意見を聞いて、時間はかかると思うが対立構造にならないように話をもっていこうと考えている。	○	①	佐宗龍俊	風力発電事業
		八名の議会報告会で市民が太陽光の業者から「新城市は簡単だ」と言われたとのこと。風力のガイドラインでも500Mの根拠も古いもの。議会からもガイドラインを見直すよう、来年度の政策希望に入れた。			カークランド陽子	
24	作手から2人議員がいて、市民とコミュニケーションがない。大雨で新規就農者のハウスが水浸しになった。昔ならこういうときは議員さんに相談するかとなったが、今はこういう声が出ない。亀山城で実行委員会をしている。担当課長が変わるたびに対応がどんどん下がっていく。教育委員会がやっていた事業を市民に下ろされた事業。合併したときは市民に迷惑はかけないと言われたのに、実際は対応ゼロ。たまたま今年は雨が降ってできなかったが、家康ブームで何千人ときたらパニック。地域のお祭りも高齢化などの問題がある。2人も議員がいるのだから、もっとコミュニケーションを深めて欲しい。	しっかりやっていきたい。	○	①	佐宗龍俊	コミュニケーション
25	作手に移住してきて8年半になる。小さい区なので7年連続区長をやっている。コミュニティーの活動の中でわかるが寂れていく一方。風力発電でも、作手にとって一番大きな問題ではないか。設楽で署名を集めてもって行ったら初めて設楽町が動いた。菅守4区だけの問題だというのは違うと思う。仮に作手ちくの全部の署名を市に持って行っても少ないと言われてしまうのでは？ 議員の方達の市との連絡や働きかけが非常に大事だと思う。作手を愛するという気持ちで根本的なことから考えて活動してもらいたい。	しっかりやっていこうと思う。風力発電を菅守学区だけの問題だとは思っていない。菅守の人にしっかり動いてもらわないと困ることになると思うので、今のような行動をとっている。問題としては当然地域全体の問題だし、新城や鳳来にも飛び火するような話だと思っている。	○	①	齊藤竜也	風力発電事業
26	中電の説明はいつも調査についての説明のみ。それも必要だが、それ以外の情報(勉強している人が持っている情報)を得られるような勉強会を議員さんにもして欲しい。不安に思っているけど。中電ではない情報も得られる機会をたくさん作って欲しい。先日区長会へ、黒瀬のそのような情報を持っている団体のかたが説明入らせてくださいと言ったら、区長かいがそういうのはやらないでくださいと断ったと聞いている。	どの情報が正しくてどれが正しくないのか難しいが、情報としては提供していきたい。	○	①	佐宗龍俊	風力発電事業

No.	市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	対応			キーワード
			分類	番号	担当	
27	住んでいる地域で、小規模太陽光あと6カ所という話を業者がしていた。業者は施工と管理はするという話。業者が投資をする人を見つけてきて、その人が持ち主。その業者が全部やるなら大規模になるから法律をすり抜けるためにそのような手段を使っているだけなのでは？持ち主が東京の人や海外の人や誰なのかわからなく、このままいくと20年後はどうなるのか不安。議会でも話をしてもらいたい。	太陽光発電の手続きに関する条例を改正した。が手続きさえしっかりすれば進んでしまうという現実はある。それを止めるのは難しい。設楽原のケースのような景観的な地区に対しての設置についてはなんとかしなければならぬという声が出ている。声を上げて事業者や地権者に対応するという対応になっている。	○	①	鈴木達雄	太陽光発電設備
28	事業者はわかっても持ち主が全然知らない人、またはわからない状態は問題。どうにもならないことかもしれないが、一応頭に入れておいてもらいたい。	聞き置いた事項(含む情報提供)	○	②	-	太陽光発電設備